

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第四號

大正四年十二月十七日(金曜日)

午前十時四分開議

議事日程 第四號 大正四年十二月十七日

午前十時開議

- 第一 宇野清左衛門君、井芹康也君請暇ノ件
- 第二 華族世襲財産法改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第三 電氣事業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 郵便爲替法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔河井書記官朗讀〕

去ル十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

明治四十四年法律第五十一號中改正法律案

同日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

豫算委員會

委員長 子爵岡部 長職君 副委員長 小松原英太郎君

大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵前田 利定君 副委員長 男爵北島 齊孝君

同日豫算委員會ニ於テ決定シタル分科及分科擔當委員ノ氏名左ノ如シ

第一分科(歳入、大藏省(帝國鐵道ヲ除ク))

伯爵松平 直之君 子爵青木 信光君 子爵牧野 忠篤君

子爵前田 利定君 子爵榎本 武憲君 子爵水野 直君

高崎 親章君 男爵田 健治郎君 男爵東郷 安君

石渡 敏一君 橋本圭三郎君 桑田 熊藏君

兼務 田中源太郎君

男爵村上 敬次郎君 木村 警太郎君 安田 善三郎君

第二分科(外務省(關東都督府ヲ除ク)司法省)

伯爵奥平 昌恭君 子爵岡部 長職君 子爵堀河 護磨君

小野田 元熙君 倉富 勇三郎君 男爵杉溪 言長君

男爵長松 篤葉君 男爵黑田 長和君 谷森 眞男君

堀 正一君

兼務 男爵小澤 武雄君 河村 讓三郎君 男爵田 健治郎君

石渡 敏一君

第三分科(内務省(各特別會計ヲ除ク)文部省)

子爵松平 康民君 男爵石黑 忠恵君 小松原英太郎君

男爵高木 兼寛君 男爵久保田 讓君 江木 千之君

三宅 秀君 山田 春三君 鎌田 榮吉君

兼務 子爵水野 直君 小野田 元熙君 倉富 勇三郎君

岡田 良平君

第四分科(陸軍省)

伯爵松平 賴壽君 子爵樋口 誠康君 子爵五辻 治仲君

男爵有地 品之允君 男爵沖原 光孚君 男爵村上 敬次郎君

男爵目賀田 種太郎君 男爵南岩倉 具威君 男爵伊東 義五郎君

男爵宮原 二郎君 男爵眞田 幸世君 水野 鍊太郎君

兼務 子爵伊集院 兼知君 男爵石黑 忠恵君 谷森 眞男君

第五分科(農商務省)

子爵伊集院 兼知君 男爵武井 守正君 男爵平野 長祥君

岡田 良平君 安立 綱之君 小野 光景君

木村 警太郎君 佐藤友右衛門君 松尾 廣吉君

伯爵松平 直之君

子爵前田 利定君

高崎 親章君

兼務

小松 謙次郎君 男爵宮原 二郎君 男爵安場 末喜君

男爵長 松 篤 栗君

第六分科(關東都府、內務省所管
各特別會計、帝國鐵道)

男爵小澤 武雄君 子爵稻垣 太祥君 淺田 德則君

河村 讓三郎君 小松 謙次郎君 男爵安場 末喜君

木内 重四郎君 荒井 泰治君 安田 善三郎君

兼務

子爵前田 利定君 子爵榎本 武憲君 小松原英太郎君

男爵東 郷 安君 三宅 秀君

同日決算委員分科會ニ於テ當選シタル主査ノ氏名左ノ如シ

第一分科主査 男爵外松孫太郎君 第二分科主査 伯爵林 博太郎君

第三分科主査 子爵實吉 安純君 第四分科主査 子爵西大路吉光君

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

遞信省所管事務政府委員

爲替貯金局長 肥 後 八 次君

去ル十四日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

郵便爲替法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵德川 圀 順君 副委員長 伯爵松平 賴壽君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

郵便爲替法中改正法律案可決報告書

大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案可決報告書

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

華族世襲財産法改正法律案

一昨十五日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

電氣事業法中改正法律案可決報告書

昨十六日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

貨幣法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵青木 信 光君 副委員長 仁尾 惟茂君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

貨幣法中改正法律案可決報告書

請願文書表第二回報告書

同日政府ヨリ左ノ決算及同検査報告ヲ提出セリ

大正二年度歳入歳出總決算

大正二年度各特別會計歳入歳出決算

大正二年度歳入歳出決算検査報告

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、宇野清左衛門君、井芹康也君請暇ノ件、宇野君ハ病氣ニ付十七日間、井芹君ハ病氣ニ付十五日間ノ請暇デゴザイマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、華族世襲財産法改正法律案、政府提出、第一讀會

〔成瀬書記官朗讀〕

華族世襲財産法改正法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正四年十二月十四日

内閣總理大臣 伯爵大隈 重信

司法大臣 尾崎 行雄

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

華族世襲財産法

第一條 有爵者ハ世襲財産ヲ設定シ又ハ之ヲ増加スルコトヲ得

第二條 世襲財産ノ設定又ハ増加ハ遺言ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三條 有爵者カ未成年者禁治產者又ハ準禁治產者ナルトキハ世襲財産ヲ設定又ハ増加スルコトヲ得ス

第四條 世襲財産ハ家寶、不動産、登録國債又ハ記名ノ有價證券ニ限ル

第五條 世襲財産ヲ設定又ハ増加セムトスルトキハ其ノ財産ノ目錄ヲ添ヘ

宮内大臣ニ認可ヲ申請スヘシ

第六條 前條ノ認可ノ申請アリタルトキハ宮内大臣ハ目錄ニ記載シタル財產ヲ世襲財產ト爲スノ當否ヲ調査スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ宮内大臣ハ目錄以外ノ財產ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第七條 宮内大臣ハ前條ノ調査ニ依リ支障ナシト認メタル財產ニ付第五條ノ認可ノ申請アリタル旨ヲ一週間公告スヘシ

前項ノ公告ニハ土地ニ付テハ其ノ所在地目及面積、建物ニ付テハ其ノ所在種類構造及建坪其ノ他ノ物件ニ付テハ其ノ品目種類箇數其ノ他必要ナル事項ヲ掲クヘシ

第八條 前條ノ規定ニ依リ公告シタル財產ニ關シ權利ヲ有スル者又ハ民事上ノ強制執行、假差押若ハ假處分ニ著手シタル者ハ前條第一項ノ公告期間内又ハ其ノ期間滿了後二月内ニ之ヲ宮内大臣ニ申出ツヘシ

世襲財產ノ設定又ハ増加ノ認可ハ前項ニ定メタル期間滿了ノ後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條 宮内大臣ハ世襲財產ノ設定又ハ増加ヲ認可シタルトキハ其ノ旨及第七條第二項ニ掲クル事項ヲ公告スヘシ

第十條 宮内大臣ハ華族世襲財產臺帳ヲ設ケ世襲財產ニ關スル事項ヲ登録スヘシ

第十一條 世襲財產中登録國債アルトキハ國債登録簿ニ世襲財產タル旨ヲ登録シ有價證券アルトキハ宮内大臣ハ之ニ世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス

株券又ハ社債券ニ付テハ前項ノ規定ニ依ルノ外株主名簿又ハ社債原簿ニ世襲財產タル旨ヲ記入スルコトヲ要ス

登録國債又ハ有價證券ノ世襲財產タル效力ハ前二項ノ要件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十二條 世襲財產ノ效力ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルニ至リタル日以後ハ其ノ前ノ原因ニ基キ世襲財產ニ付所有權、質權又ハ抵當權ヲ有スル者ハ判決又ハ確定日附アル證書ニ依リテノミ其ノ權利ヲ主張スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ權利ヲ主張セムトスル者ハ其ノ旨ヲ宮内大臣ニ申出ツヘシ

第十三條 世襲財產ハ家督相續人之ヲ相續ス

第十四條 世襲財產又ハ其ノ法定果實ヲ收取スル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ質權若ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得ス株券カ世襲財產タル場合ニ於テ利益又ハ利息ノ配當ヲ受クル權利ニ付亦同シ

世襲財產ニ付地上權、永小作權又ハ地役權ヲ設定又ハ變更セムトスルトキハ宮内大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第十五條 世襲財產ハ民事上ノ強制執行ノ目的ヲ以テ之ヲ差押ヘ又ハ一般ノ先取特權ニ基キ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

世襲財產ノ果實又ハ前條第一項ノ利益若ハ利息ニシテ他ノ財產ト混合セサルモノ亦前項ニ同シ

前二項ノ規定ハ世襲財產ノ效力ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ルニ至リタル日前ニ爲シタル假差押ニ基キ差押ヲ爲シ又ハ一般ノ先取特權ニ基キ著手シタル競賣ヲ續行スルコトヲ妨ケス

第十六條 世襲財產タル不動産ノ管理ニ付テハ豫メ其ノ方法ヲ定メ宮内大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條 世襲財產ハ確實有利ナル世襲財產ニ換フル爲又ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限り宮内大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ全部又ハ一部ヲ廢止スルコトヲ得

第二條、第三條、第五條及第六條ノ規定ハ世襲財產ノ廢止ニ付之ヲ準用ス

第十八條 前條ノ規定ニ依リ確實有利ナル世襲財產ニ換フル爲世襲財產ヲ廢止シタル場合ニ於テハ廢止ノ認可ヲ受ケタル者又ハ其ノ相續人ハ認可アリタル日ヨリ一年内ニ第五條ノ認可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ期間内ニ申請ヲ爲ササルトキハ宮内大臣ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ申請ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第三條ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依リテ認可ノ申請ヲ爲スヘキ場合ニハ之ヲ適用セス此ノ場合ニ於テ申請ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人之ニ代リテ申請ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 前條ノ規定ハ收用、滯納處分、償還、滅失其ノ他ノ事由ニ因リ世襲財產ニ代リ其ノ所有者ニ歸シタル財產アル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ財產ニシテ他ノ財產ト混合セサルモノニ付テハ第十五條第一項ノ

規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ相當ノ事由アリト認ムルトキハ前條ノ認可ノ申請ヲ免除スルコトヲ得

第二十條 前二條ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ管理人ヲ選任シ世襲財産タリシ財産又ハ前條ノ財産及其ノ財産ノ處分ニ因リテ得タル財産ヲ世襲財産ノ設定又ハ増加ノ認可アル迄他ノ財産ヨリ分離シテ管理スルコトヲ命スルコトヲ得果實又ハ配當ヲ受ケタル利益若ハ利息ニシテ其ノ財産ト混合シタルモノニ付亦同シ

前項ノ規定ニ依リテ管理スル財産ハ管理人ニ依ラスシテ之ヲ處分シ又ハ管理ニ因リテ生シタル權利ニ基カスシテ民事上ノ強制執行若ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第一項ノ場合ニ於テ宮内大臣ハ管理人ヲ改任シ其ノ他財産ノ管理ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 前條第一項ノ規定ニ依リテ管理スル財産ノ果實ニ關シテハ第十四條第一項及第十五條ノ規定ヲ準用ス其ノ財産中株券アル場合ニ於テ利益又ハ利息ニ付亦同シ

第二十二條 有爵者爵ヲ失ヒ又ハ襲爵者ナキコト確定シタルトキハ世襲財産ハ其ノ效力ヲ失フ

第二十三條 世襲財産ニ付第十二條第二項ノ申出アリタル後二月内ニ主張ニ係ル權利ヲ消滅セシメ又ハ主張ニ對シ訴ヲ提起セサルトキハ世襲財産ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ期間内ハ主張ニ係ル權利ニ基キテ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第二十條及第二十一條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リテ世襲財産ノ效力ヲ失ヒタル財産アル場合ニ之ヲ準用ス

前項ノ財産ニ代リ其ノ所有者ニ歸シタル財産アル場合ニ於テハ第十九條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條 世襲財産ノ廢止、失効其ノ他ノ異動アリタルトキハ宮内大臣ハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第二十條又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ財産ノ管理ヲ命シ又ハ管理人ヲ改任シタルトキ亦同シ

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

登錄國債又ハ有價證券ニ付世襲財産ノ廢止又ハ失効アリタルトキハ第十一條ノ登錄又ハ記入ヲ抹消スヘシ

第二十五條 第二十條ノ規定ニ依リテ管理スル財産中登錄國債アルトキハ國債登錄簿ニ管理財産タル旨ヲ登錄シ管理終了シタルトキハ其ノ登錄ヲ抹消スルコトヲ要ス

第十一條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 世襲財産ニ關スル公告、登記又ハ登錄ノ費用ハ其ノ名義人ノ負擔トス

第二十七條 宮内大臣ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ世襲財産ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

宮内大臣ハ世襲財産ノ管理ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

附則

第二十八條 本法ノ施行ニ關スル規程ハ宮内大臣之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依ル世襲財産及ヒ其ノ附屬物ハ本法ニ依ル世襲財産ト看做ス」

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ世襲財産ノ純收益ニ付他人ノ有スル權利ハ本法施行後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス本法施行前著シタル差押又ハ假差押ニ付亦同シ

不動産登記法第四百三三條中「解除ヲ認可シタルトキ」ヲ「廢止又ハ失効アリタルトキ」ニ改メ同法第四百四條ニ左ノ二項ヲ加フ

華族世襲財産法第二十條ノ規定ニ依リ管理ヲ命シタル財産中不動産アルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク管理財産タル旨ノ登記ヲ登記所ニ囑託シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ囑託スルコトヲ要ス

前項ノ管理中取得シタル不動産ニ付テハ管理人ハ取得ノ登記ト共ニ管理財産タル旨ノ登記ヲ申請シ管理終了シタルトキハ其登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ要ス

〔國務大臣伯爵大隈重信君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 諸君、華族世襲財産法改正法律案ニ付テ提出ノ理由ヲ述ベマス、御承知ノ通りニ華族世襲財産法ハ十九年ニ設ケラレタルモノデ、其當時ト今日トハ時勢ガ餘ホド變化イタシマシテ、聊カ今日不都合ヲ感ズルコトガ尠クナイト申スコトデ、宮内大臣ニ於テハ既ニ先年ヨリ此改正ノ必要ヲ感ゼラレテ色々調査サレテ居マシタ、ソレガ丁度六月ノ臨時議會

ニ改正法律案ガ提出サレマシテ、既ニ貴族院ニ於テ委員會ニマデ付セラレマシタガ、委員會ノ多數ノ諸君ハ頗ル重大ナ法律案デアアル爲ニ、短期ノ臨時議會ニハ此調査ハ頗ル困難デアアル、段々其時ノ御意見ヲ承リマス、無論色々急ヲ要スル内部ノ事情モアリマシタガ、決シテ六箇月ヤ七箇月ノ猶豫ノ出来ヌト云フコトハナイト存ジマシテ、斯ノ如ク大切ナル法律案ハ華族ノ便利、或ハ宮内省ノ都合ハソレデ宜シト致シマシテモ、民法上其他一般社會ノ關係モ尠クナイ譯デアリマスカラ、委員會ノ御意見ハ尤ト存ジマシテ、宮内大臣トモ相談イタシマシテ、撤回ヲ致シタ次第デアリマス、其時ノ案ニ多少注意ヲ加ヘマシテ、此度提出サレマシタ譯デアリマスカラ、ドウカ十分ナル審議ヲ盡サレテ、ドウカ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス、是ニハ從來ノ法律案ト此度改正案トノ對照ヲサレテアリマスカ、何レ詳細ナ説明ハ委員會ニ於テ致ス積リデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハチヨット質問ヲ致シタイ、ソチラヘ出マシテ宜シウゴザイマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 唯今本案ノ説明ヲ承リマシタガ、理解シ能ハザル所ガゴザイマス、總理大臣ニ御尋ヲ申シタウ存ジマス、提出ノ理由ニ現行ノ世襲財產法ハ時勢ノ進運ニ伴ハヌトアル、唯今ノ御説明ニモ十九年設定ノ以後、法律ヲ設ケラレタ以來變々コトガアツテ不便ガアルカラ變ヘル、宮内大臣ニ於テ頻ニ求メマスルカラ變ヘル、斯ウ云フヤウナコトデアリマシタ、如何ナルコトガ……如何ナルコトガ時勢ノ進運ニ伴ハヌトデアルカ、現行法ノ如何ナルコトガ時勢ノ進運ニ伴ハヌカ、唯漠然進運ニ適ハヌトアリマスカ、現行法ノドレガ伴ハヌトデアリマスカ、ソレヲ明白ニ御説明ヲ得タイト存ジマス、是ガ第一デアリマス、第二ニハ世襲財產ハ元來之ヲ讓渡シ或ハ質權抵當權ノ目的ト爲スヲ得ズト規定シテアリマスノハ、是ハ世襲財產ノ保護ニ出ヅルト思ヒマス、然ルニ此案ノ……提出案ノ十七條ヲ見マスルト已ムヲ得ザル場合ニハ世襲財產ヲ廢スルトアリマスルガ、然ラバ元來當初世襲財產ヲ設定セシメタル法律ノ精神タル華族ノ世襲財產ヲ保護スルト云フコトハモウ要ラナイト云フコトデアルカ、保護ハセラレヌト云フコトニナルノデアアルカ、一方デ云ヘバ、一方ニハ設置シテ他ノ一方ニハ已ムヲ得ヌ時分ニハ廢スルト云ヘバ殆ト自由ニナルノデアリマス、是等ガ進運ニ伴ハヌト云フノデアアルカ、之

ヲ伺ハムトスルノデアリマス、又現行法ノ二十四條ニ於キマシテハ世襲財產ニ關スル親屬會議ノ組織ヲ命ジテアリマスル、又二十五條ニ於キマシテハ世襲財產ニ關スル願書屆書ハ皆親屬會議ノ連署ヲ要スルコトニナツテ居リマスル、是ハ特別ノ階級タル華族ヲ保護スル上ニ付テ適當ナル規定ノ如ク思ハレマスル、恣ニ世襲財產ノ處分ヲ爲スコトヲ制限シテアルコトデ至極適當ニ存ジマスガ、改正案ニ於テハ是亦已ムヲ得ザル場合ニ於テハ無クテ宜シト云フコトデアリマス、要スルニ此改正案ノ全篇ヲ通ジテ察シマスルニ現行法ハ窮屈デアアルカラ之ヲ解クト云フコトニナルヤウデアリマスル、然ル所曩ニ華族ノ位置ヲ保チ崇班ノ高キヲ知ルバシト云フ聖勅ハ業ニ已ニ吾人ノ恭シク奉ジタマツル所デゴザイマス、一方聖勅ノ重キヲ奉ジテ此特別階級ノ品位即チ崇班ノ高キヲ自覺イタシ之ヲ守ラムトスルニハ是ニ要スル財產ト云フコトガ必要ト存ジマス、其財產ハ獨リ自己ノ格護ニ依ルノミナラズ法律ノ保護ニ依ツテ此財產ノ確實ヲ得ルト云フコトハ今日國家ガ特別ノ階級ヲ保護スル上ニ於テ必要ナル設備ト思フノデアリマス、然ルニ本案ハ稍、其趣意ニハ違フヤウニ思ヒマス、ソレデ第一ニ此改正ノ理由ニ於ケル時勢ノ進運ニ伴ハヌト云フコトハ現行法ノ何ガ伴ハヌトデアアルカ、又第二ニ唯今申スヤウニ世襲財產ヲ廢スルコト若クハ親屬會議ヲ設ケルコト、是等ヲ自由トセラルト云フノハ保護ノ精神ト容レザル如クアルガ、是ハ如何デアアルカ、又第三ニ既ニ華族タル崇班ノ高キヲ辨ヘシムルト云フナラバ尙更ニ財產ノ保護ヲ加ヘラルベキデアアルニ、之ヲ自由ニセラルルト云フハ如何デアアルカ、第四ニ唯今總理大臣ノ説明ニ依ルト何カ單ニ宮内大臣ノ求メニ依ラルルヤウニモ聞エマシタガ、先ヅ以テ矢張り國家ノ必要ナル機關トシ、國家ノ必要ナル特別階級ニ屬スルモノトシテ此華族ノコトニ對スル……保護ニ對スル總理大臣即チ政府ノ意見如何、此四ツニ分ケテ總理大臣ノ御説明ヲ得タク考ヘマス

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 私ハ足ノ惡ルイ爲ニ此席デ御答辯ヲ致シマス、目賀田男爵ヨリ縷々疑問ヲ提出セラレマシタガ、時勢ノ進運ト云フ意味デモナイガ、時勢ガ變化シテ其當時ト今日ト餘ホド違フト云フコトハ從來……十九年來華族ハ此法律ニ依ツテ保護サレテ法律ノ目的ヲ達シタコトモ少クナイ、トコロガ此法律ノ爲ニ種々不利益ナ、却ツテ保護ノ目的ニ副ハナイト云フ實驗モ少クナイノデアリマシテ、今日モ猶且ツ是等ノコトニ付テ苦シンデ居ル華族モ或ハ少クナイト云フ宮内省ノ實際ニ華族ヲ支配スル所ノ上カラ

其法律ニ依ツテ、法律ノ目的ノ保護ソノモノガドウカスルト一部ハ保護サレテモ一部ハ其不便ヨリ甚ダ苦シンデ居ル所デ、ソコデ是ハ或ル一部ヲ解除シテ或ハ此一家ノ財政、種々一家ヲ維持スル上ニ付テ多少ノ變通法ヲ用ヒマスレバ今日ノ困難カラ免ルルコトガ出來ル、財産ソノモノガ保護サレテモ其上ニ華族ノ名譽、華族ノ地位ヲ失フ、或ハ其爲ニ禮遇停止ノ不幸ガ起ラヌトモ言ヘヌノデ、此席デ名前ヲ申スノハ憚リマスガ、隨分名譽アル著名ナル貴族ニモ業ニ已ニ起ツテ居ルヤウナコトデ、此法律ニ多少變化ヲ來セバ世襲財産ノ一部ヲ解除シテ名譽ヲ失フ如キ斯ノ如キ種々ノ錯綜シタ所ノ財政ヲ整理スレバ幸ヒニ自己ノ地位名譽ヲ保ツコトガ出來ルト云フコトニ外ナラヌ、法律ソノモノハ之ヲ許サヌト云フ如キコトガ矢張り宮内省ノ十九年後度ニ起ツタ種々ノ經驗カラ、今日ノ實際ノ狀況ニ適應スル改正ノ必要ヲ認メテ此改正案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、チヨット私ハマダ少シ熱ガアルカラ、解熱劑ヲ飲ンデ居ルカラ時トスルト口ガ思フヤウニ利ケヌヤウナコトガアリマスカラ、チヨットソノ……小サナ事デアリマスルガ、此親屬會議ナドデモ表面カラ見ルト誠ニ世襲財産法ニ依ツテソレハ最モ鄭重ニ、慎重ニ自己ノ一家ノミナラズ一族相寄ツテ自己ノ財産ヲ安全ニスルト云フ上ニ於テ頗ル必要ナコトト存ジマスルノデアアル、併シ是亦實驗上カラ隨分ソレニ依ツテ困ルト云フ事實ガ少カラヌト云フ如キ事實ヲ、宮内省從來ノ經驗上カラ却ツテ其爲ニ、利益ヲ與ヘルヨリハ苦シムト云フガ如キ實驗上カラ來タモノデアアル、是等ノ詳細ノコトハ大體ニ於テ現行ノ法ハ少シク今日ノ華族ノ財産狀態、經濟狀態、其上ニ少シク窮屈ニ失スルト云フコトハ事實ノ經驗上カラ起ツタモノデアリマスカラ、ドウカ是等ノ細カナコトハ少シ事實ヲ舉グル必要モアルダラウト思ヒマスカラ、大體ニ於テ御異存ガナケレバ、ドウカ委員會ニ讓ツテ、宮内省トソレゾレ交渉ヲ致シテ是マデ實際研究シタ所ノ人ヲ以テ、細カナ説明ヲ致サセルコトガ必要ト存ジマス

○男爵目賀田種太郎君 唯今ノ總理大臣ノ御説明ハ本員ハ益々了解シ兼ねマス、別ニ異存ヲ申スノデアリマセヌ、唯法案ノ規定ノ審ナラザル所ヲ伺フノデアリマス、異存ハマダ申シマセヌ、意見ハ跡述ベルノデアリマス、更ニ司法大臣ニ向ツテ伺ヒマス、唯今總理大臣ニ伺ヒマシタ如ク現行法ハ何ガ此時勢ニ伴ハヌカト云フコトト、ソレカラ世襲財産法デ何故ニ已ムヲ得ザル事由ガアル場合ト云フ、此已ムヲ得ザルト云フコトハ如何ナルコト、如何ナル

場合ヲ指スノデアアルカ、已ムヲ得ズト云フコトノ包含スル範圍ヲ例ヲ以テ説明ヲ得タイ、ソレカラ又親屬會議ト云フモノハ或ル場合ニ於テハ甚ダ害ガアル、不便デアルト云フノデ、私ハ誠ニ了解シ兼ねル、唯今恭シクモ申シマシタル通り既ニ聖勅ガ降ツテ居ル、崇班ノ高キヲ辨ヘ、藩屏ノ任ヲ盡シ、益々同族ノ誼ヲ厚クシテ參ラナケレバナラヌ、此親屬會議ニ選定セラルルノハ多クハ宗族デアアル、若クハ其家ニ誼アル者ハ親屬會議ニ列スル、是ガ如何ナル不便ヲ與ヘルカ、實ニ家族制度、私ノ申スノハ家ノ方ノ家族デ、家族制度ヲ維持スル上ニ於テモ親屬會議ノ設置ノ如キハ良イコトト思フ、是ガ如何ナル場合ニ不便ガアルカ、右等ノコトニ付テ唯今總理大臣ニ尋ネマシタケレドモ、私ニハ能ク分リマセヌ、ドウカ司法大臣カラ委シク御説明ヲ得タイ、ソレカラ又委員會ニ於テ聞ケト云フコトデスガ、マダ委員ニナルカナラヌカ分ラヌ、此所ニ於テ委シク御説明ヲ得タイ、ソレカラ又此事ニ付テバ政府ノ意見ハ如何デアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、唯今總理大臣ノ言ハルルノハ唯宮内大臣ノ取次ノ如クデ、是ハ華族ト云フコトハ即チ貴族院ニ列シ、憲法上ノ關係モゴザイマス、即チ國家ノ一ツノ組織デアリマス、華族保護ニ對スル政府ノ意見ヲ伺ヒマス

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 全ク此度此改正ノ重モナル趣意ノ一ツハ、現在ノ世襲財産法ガ時勢ニ、又華族ノ現狀ニ多少ノ不便ヲ感ズル、ソレ故ニ世襲財産法ノ或ル場合ニハ、一家ノ狀態ニ於テ已ムヲ得ヌ場合ニハ之ヲ解除スルト云フ、即チ是マデノ法律ヨリハ多少寬ニナツタ、是ガ先ヅ根本デ、ソレカラ法其モノハ華族ノ現狀ノ、世襲財産法ノ出來タ時ニハ隨分貴族ガ一家ノ財産ヲ支配スルコトハ、大名ニ於テモ堂上ニ於テモ、自己自ラ一己ノ財産ヲ治ムルト云フコトハ、從來ノ貴族ノ慣習トシテ不完全ナル爲ニ、往々世ノ欺ク所トナツテ財産ヲ失フコトガアル、之ヲ保護スルト云フ必要ガ起ツタ、隨分嚴格ナル法律ヲ設ケタノハ其現狀ニ依ツテ法律ガ出來タノデアアル、今日ノ現狀ニ於テハ、其爲ニ一方ハ保護サルガ、一方ハ其爲ニ餘ホド苦シム、茲ニ於テ多少時ノ勢ヒニ依ツテ、華族ノ現狀ニ依ツテ法律ノ改正ノ必要ガ起ツタノデアアル、重モナルコトハ、多少已ムヲ得ヌ時ニハ一部ヲ解除スルト云フコトガ根本デアアル、ソレカラ先キハ從來ヨリ多少密ニナツタ親屬會議ノヤウナモノモダ、從來ノ經驗カラ起ツタ、或點ニ於テ今度ハ宮内大臣ニ多少權力ヲ歸シタト云フヤウナコトモアリマスルノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ重ネ重ネ御煩ハシク存ジマスルガ、ドウゾ唯今司法大臣ニ尋ネマシタコトヲ同大臣ヨリ承リタイ、總理大臣ノ説明ハ本員ハ求メナカッタノデアリマス

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 私ノ所見モ唯今總理大臣カラ述ベラレタ所ト全ク同一デアリマス、此上別ニ異タル御説明ヲ爲スベキ意味ヲ有テ居リマセヌノデアリマス、大體時勢ノ進運若クハ變化ニ順應スルト云フノハ、詰リ御詔勅ノ目的ヲ實際ニ貫徹スルガ爲ニハ斯ノ如キ改正ヲ加ヘタガ便利デアルト云フノガ根本デアリマシテ、總テ總理大臣ノ御話ト同ジコトデアリマスル故ニ多言ハ費シマセヌ

○男爵目賀田種太郎君 度々恐縮ニ存ジマスガ益々ドウモ分ラヌヤウナ鹽梅デアリマス、唯今私ハ精シウ御尋シマシタケレドモ、總理大臣ト同ジク時勢ノ進運ニ伴フニハ斯ノ如ク法律ヲ改正シテモ詔勅ノ御趣意ニ副フト云フコトニ承ツタ、此點ハ誠ニ分カラヌ、司法大臣モ御承知ノ通り華族ニ對シテハ維新以來幾同ノ詔勅ヲ發セラレタ、即チ今日ハ宗秩寮ヲ置カレ、宗秩寮ナルモノハ華族ヲ監督サレル所デ、宗秩寮ヲ置カレル時ニ於テ汝華族等ハ能ク品位ヲ保ツテ藩屏ノ實ヲ盡セト云フ御趣意デアリマス、又華族ノ財産ノ保護ノコトニ付テモ屢々詔勅ガアツテ家道ヲ保テトアル、然ラバ世襲財産ナルモノハ之ヲ堅固ニスルホド華族ノ保護ノ本意ナリトコソ存ズルニ、之ヲ廢スルノヲ自由ニシテ世襲財産ヲ廢メル方ガ詔勅ニ背カヌト云フノ御説明ハ本員ハ分ラヌノデアリマス、今一應御説明ヲ得タイ、且又本員ガ度々伺ヒマスノハ政府ノ趣意如何ト云フノデアリマス、先刻總理大臣ノ言ハル所ハ宮内省ニ於テ不便ガアルカラト云フコトデアリマス、宮内省ハ宮内省、政府ハ政府、政府ノ意見ヲ尋ネタイ、斯ウ申スノデアリマス、ドウカ説明ノ勞ヲ吝マレズニ精シク御説明ヲ請ヒタイ

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 御議論ハ……

〔男爵目賀田種太郎君議長、本員ハ議論ハ致シマセヌト呼フ〕

御議論ハ御議論トシテ、唯御疑問ニ屬スル詔勅ノ御趣意ニ違ヒハセヌカト云フコトニ付テハ、政府ハ違ハヌ、此方ガ御趣意ヲ貫徹スルニ便利デアルト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガイケヌト仰シヤレバソレハ御議論ニナルノ

デ、此上ハ御答ノ仕樣ガナイ、又廢止ヲシャウト云ヒ、自由ヲ與ヘルト云ツタ所デ、全部ノ自由ヲ與ヘルノデナクシテ宮内大臣ノ嚴重ナル監督ノ下ニ於テ已ムヲ得ズト認定シタル場合ニ於テ取除トシテ自由ヲ與ヘルノデアリマスカラ、之ヲ與ヘルガ爲ニ世襲財産設定ノ目的ハ益々鞏固ニナルト云フ見込ナノデアリマス、其見込ガ惡イト言ヘバ是ハ御議論デアリマス、ソレカラ政府ノ意見ト云フコトノ御尋デアリマシタガ此場合ニ於テハ政府ノ意見モ宮内省ノ意見モ同一デアアルノデ、主トシテ華族ヲ監督シテ居ルモノハ宮内大臣デアアルガ爲ニ、ソレト交渉ノ上、此法案ヲ政府ガ出シタノデアリマスカラ、政府ノ意見ハ此法案ニ現ハレテ居ル通りノガ意見デアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ司法大臣ヨリ更ニ説明ヲ伺ヒマス、本員ハ議論ハ仕リマセヌ、何ガ故ニ本員ノ發議ヲ以テ議論ト認メラレルカ、本員ハ斯ノ如ク思慮スルガ斯ノ如キコトハ不明デアアルカラ伺ヒタイト申シマシタ、本員ハ議論ハ致シマセヌ、何ヲ以テ議論ト仰セラレマスカ、之ヲ更ニ伺ヒタイ

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 若シ議論ト思ツタノガ惡ルイト仰セラレバ、ソレガ即チ議論デアルト私ハ思フノデアリマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハドウモ誠ニ分ラヌ、今少シ丁寧ニ御説明ヲ得タイ、分リマセヌ

〔男爵小澤武雄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公府徳川家達君) 小澤男爵ハ何デスカ

○男爵小澤武雄君 委員ノ數ノコトニ付テ……

○議長(公府徳川家達君) 少シ御待チテ願ヒタイ、林伯爵

○伯爵林博太郎君 私ハ唯今ノ政府ヨリノ御答辯ニ付テ一應分ッタイウニ思ヒマシタガ、御答辯ニ依ッテ更ニ紛糾シテ分ラナクナリマシタノデ、之ヲ總理大臣若クハ司法大臣カラ私ノ質問ニ對シテ的確ノ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此法律案ハ即チ華族世襲財産法改正法律案トシテ提出サレタノデアリマスカラ、前ノ法律ヲ改正スルト云フコトニナルノデアリマスガ、茲ニ附則トシテ書イテアル中ニ「從前ノ規定ニ依ル世襲財産及ヒ其ノ附屬物ハ本法ニ依ル世襲財産ト看做ス」此法ノ精神ニ於キマシテ前ニ我々ガ有ッテ居リマス所ノ世襲財産ハ依然トシテ今度ノ改正案ニナッテモ繼續スルト云フ御精神デアアルノデアリマス、茲ニ政府ヨリノ唯今ノ御説明竝ニ法律案ノ理由書ニ書イ

テアリマスガ「現行華族世襲財産法ハ時勢ノ進運ニ伴ハサルニ至リ」トアリマス、先程大隈總理大臣ヨリノ御話モ其通りデアリマス、時代ノ進運ニ於テ前ノ法律ト現在ノ法律ト是ヨリ改正サルベキ此法律案トハ御互ニ其精神ニ於テ没交渉ニナツタト云フコトヲ明白サレテ居ルモノト看做シテ宜イト思ヒマス、即チ時代ニ於テ兩法律案ハ相合ハザルモノトナツタト云フコトニ歸著サレタ議論ダラウト考ヘマス、然ラバ何故ニ時代ニ合ハナイ現行ノ法律ヲ改正シテ玆ニ斯ノ如キモノニ改メルノデアリマスカ、先程ノ御話ニ依ルト今日ハ大分此世襲財産法ガアルガ爲ニ苦ンデ居ル華族ガアル、是ハ宮内省ノ調査ニ依ッテ明カデアアル、同時ニ私ノ考ニハ此世襲財産法アルガ爲ニ苦ンデ居ル所ノ者ハ二通りアルト考ヘマス、一ツハ借財ノ爲ニ苦シム者ガアルシ、一ツハ富豪デアアルガ爲ニ斯ウ云フモノガアッテ更ニ苦シムト云フ二様ノ者ガアル、サウナツテ來マス時時代ガ變化シテ來タト云フコトヲ既ニ御承知ニナツタ以上、之ニ依ッテ苦シム所ノ華族ノ中ノ富豪ノ者ト貧困ノ者トノ苦シム程度モ大變ニ落差ガ出來テ來タト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、故ニ現狀ガ以前ノ狀態トハ違ッテ來タト云フコトヲ條件ニシテ此法律案ヲ出サレタ精神デアアルナラバ、何故ニ一旦現在ノ華族ノ狀況ニ鑑ミラレテ世襲財産ヲ總テ一旦廢止シテ仕舞ッテ、サウシテ更ニ此改正案ト云フモノ或ハ新シク世襲財産法ヲ御提出ニナツテ、ソレヲ決メタ後ニ於テ我々ガ今度ノ規定ニ依ッテ十分ノヲ遵奉シテ我ガ世襲財産ヲ決メテ貰ヒタイト云フコトデアアルナラバ、ソレノ人間カラ申出デ、サウシテ其既定ノ世襲財産法ノ修正ヲスルトスレバ宜イノダト考ヘマスガ、事玆ニ出ズシテ世襲財産ハ依然トシテ現狀ノ儘ニ繼續シテ行ッテ、唯法ノ形ノミヲ變ヘルト云フコトニナレバ矢張り窮屈ナルモノトナツテ頗ル不都合ヲ感ズル者モ大ニアアルヤニ感ジマス、第一ニ私ハ此世襲財産ト云フモノハ頗ル不自由ナモノデアッテ、恰モ準禁治産ニ遇ッタルガ如キ感ガアル、此點ニ於テハ如何ナル政府ノ御意見ガアリマスルカ伺ヒタイノデアリマス、極ク簡單ニ言ウテ見ルト、時代ガ變ッテ來タノデアアル、時代ガ變ッタト云フコトデアアルナラバ何故ニ一旦世襲財産法ヲ廢止シテ更ニ的確ナルモノヲ出サズシテ斯ウ云フモノヲ拵ヘタノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 今林伯爵ノ御考ハ……全體法律ト云フモノハ其人ノ行爲ヲ多少檢束スルモノデアアルカラ多少ノ窮屈ハアルデセウ、其窮屈其物ガ一ノ保護トナル、ソレ故ニ華族ノ大多數ハ世襲財産ヲ設定セナイ、今

日何百人御居デニナルカ知ラヌガ、多分八九百人カラ今日デハ漸次増加シツツアルカラ千人ニ近イ華族ノ數デアアルガ、其中四分ノ一グラキ世襲財産ヲ設定シテアル位ノモノデアリマス、ソレデ御承知ノ初メ此維新當時ナドニハ此時此ノ如キ問題ノ起ルトキニハ全部總テノモノヲ廢シテ、サウシテ新タニ拵ヘルト云フヤウナコトモ澤山起ッタノデアッタガ、併ナガラ世襲財産其物ヲ廢スルト云フコトハ宮内省ニ於テモ少シモ其意ガナイノデ、多少窮屈デアラウトモ世襲財産法ハ貴族ノ財産ヲ保護スルニ必要ナリト云フコトハ依然トシテ今日モ變ラヌ、唯此財産法ガ今林伯爵ノ御言葉ヲ用フルト少シク窮屈ニ失シテ居ルノヲ多少其窮屈ヲ寬ニシテ、而シテ依然トシテ此華族ヲ保護シヤウト云フ改正デアアル、即チ改正ノ主ナルモノハ一度決シタ所ノ世襲財産ハ解除スルコトハ出來ナイ、又第一類第二類ノ變更モ餘程ムヅカシイト云フ頗ル窮屈ナモノデアリマシタノヲ之ヲ餘ホド寬ニシタト云フノガ此改正ノ趣意デ、華族ノ財産ヲ保護スルト云フ世襲財産法ノ根本ノ趣意ハ聊カ變更シテハ居ナイノデ、是ハ最初カラ廢シテ仕舞ッテ他ノ法ヲ以テ世襲財産ヲ拵ヘルト云フガ如キ大改正デハナイノデアリマス

○男爵尾崎三良君 私モチヨット質問ガアリマスガ、諸君ヨリ追々御質問ガ出マシタカラ私ノ質問セムト欲スル所モ其中ニ出ルカト考ヘテ居リマシタガ、ドウモ十分其處マデ至ラヌヤウデスカラ一言私ノ疑惑ノ點ヲ申述ベテ、ドウカ總理大臣ナリ其外ノ政府委員カラナリデモ宜シウゴザイマスガ一應御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此度ノ改正ノ要旨ハ先刻カラモ度々御述ベニナツタ通り華族世襲財産法ト云フモノハ時勢ノ進運ニ伴ハヌカラ改正ノ必要ガアルト云フノデ、成程本員等モサウ思ウテ居ル、一體華族世襲財産法ト云フモノハ全體ガ今日ノ進運ニハ伴ハナイモノデアアル、ソレハ誰ニ聞イテモ其通リノ論ニ違ヒナイ、唯今日ノ日本ノ有様ハ華族ト云フモノハ或ル部分ニ於テハ未成年者ト同様デアルトカ無能力者ト見テ是ハ拵ヘタモノデアアル、誠ニナサケナイ話デアリマスガ、去リナガラ今日ノ時勢仕方がナイト云フ所カラ暫ク存シテ置イテモ宜カラウト思ヒマスガ、サテソレヲ少シ緩メルト云フコトニナツタ所デ此十七條ニ「已ムヲ得サル事由アル場合ニ限り宮内大臣ノ認可ヲ受ケ其全部又ハ一部ヲ廢止スルコトヲ得」ト云フコトガアル、是ガ改正ノ骨子デアラウト思フ、其有利ナル世襲財産ニ換フル爲ト云フノハ是ハ論ハナイ、餘リ利益モナイモノヲ持ッテ居ッテモ仕方ガナイカラ、利益ノアルモノニ換ヘ

ル爲ト云フコトハ是ハ一向論ハアリマセスガ、唯已ムヲ得ザル事由アル場合ト云フコトハドウ云フ事由デアアルカ、甚ダ漠然トシテ居ル、詰リ其當事者ノ考ト宮内大臣ノ認可トデ行クコトデアアル、ソコデ是ハドウ云フモノデアアルカ、ドウ云フ場合ヲ指シタノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイノデスガ、先ヅ私ノ見解デハ或ハ借金ガアル、其借金ノ爲ニ苦シメラルルカラ、ソレヲ返ス爲ニ世襲財産ノ一部ヲ解除シテ返シテヤラウト云フ場合モアルデアラウ、随分高利ノ金ヲ借りテソレヲ返シサヘスレバ其高利ヲ免レルコトガ出來ル者モ、ソレヲ返ス金ガナイ故ニ已ムヲ得ズ年々高利利息ヲ拂フト云フ場合モアリマセウ、所ガ中ニハ澤山世襲財産ヲ持ッテ居リナガラ、債權者ガ之ガ爲ニ困ッテ非常ニ困難ヲシテ居ルニモ拘ラズ、ソレヲ餘所ニ見テコチラニハ財産ガ澤山アルケレドモ是ハ世襲財産ダカラ之ヲ以テ償フ義務ハナイト云フノモアル、之ヲ公衆ノ有益ナル方ニ利用スレバサウ云フモノハ解除シテ其債務ヲ濟シタ方ガ適當デアラウト思フケレドモ、或ハ又ソレヲ返サズニ置イテモ自分ノ意思ト宮内大臣ノ意見トデ解除スル意味デアリマスケレドモ、自分ノ意思ハ債權者ガ幾ラ困ッテモコチラハ世襲財産ダカラ之ヲ以テ拂フ義務ハナイト云フヤウニシテモ行ケルト云フコトニナルヤウデアリマセスガ、サウナルト益々此或ル一部ヲ解除シテモ返スコトガ出來、又其當事者ノ意思ガ幾ラ債權者ハ迷惑シテモ構ハヌトナレバ解除セズニ置クト云フコトガ出來ルノデアリマセスガ、サウナルト却ッテ不公平ナコトニナル、債務者ノ意思デ以テ債權者ニ迷惑ヲ掛ケヤウガ掛ケマイガ勝手ニ出來ルト云フノハ却ッテ此改正案ガ世ノ中ニ反響スル所ガ面白クナイ結果ヲ生ジハシナイカト思ヒマセスガ、其邊ハドンナ御考デアリマセウカ一應伺ッテ置キタイノデアリマセス

○國務大臣(伯爵大隈重信君) 尾崎男爵ハ能ク華族ノ状態ヲ察シテ御出デノヤウデアリマセスガ、尾崎男爵其方モ貴族デアリマセスカラ、貴族ノ状態ヲ能ク御存ジト思ヒマセ、殆ド三十年ニ近イ間大分宮内省ニ於テハ餘ホド困ッタラウト思ヒマセ、華族ノ財産ニ付テ起ッタクコトハ殆ド述ブレバ數時間カカッテモ述ベ盡サレヌ程ノ状態ガアル、如何ニモ御氣ノ毒デアアルノモアル、或ル一部カラ言ヘバ社會ガ惡ルイ高利貸ガ惡ルイト言フケレドモ、又或ル一部カラ言ヘバ借ル者ガアレバコソ高利貸ガ貸ス、サウ云フ譯デ又或ハ随分世故ニ慣レヌ者ガ檢束サレタ生活ニ慣レタ者ガ、急ニ自由ノ生活ニ入ッテ爲ニ必要ナク浪費ヲスルヤウナコトガアッタ、併シソレ等ハ近來ハ餘ホド減ッテ來タ、減ッ

テ來タガ尙且ツ多少アルト見エマシテ、名前ヲ言フノハ御氣ノ毒デアアルガ……隨分大華族ニモナイトハ言ヘヌヤウナ譯デアアル、是等ノコトガ即チ宮内省ガ從來華族ヲ監督スル上ニ付テ始終苦ンデ居ルノデ、或ル場合ニハ宮内省ニ歎願シテ宮内省ノ助ヲ請ウタト云フコトハ隨分少クナイヤウニ思ヒマセ、是ガ華族ノ現状デアアル、此嚴格ナル法律ガ華族ヲ保護スル所ノ現状、其實驗上此華族ノ現状カラ此改正案ガ起ッテ居リマセ、多少ノ變通ガ出來ルヤウニスル方ガ却ッテ華族ノ名譽ヲ保チ同時ニ……保ツニ必要ナリト認メタノデアリマセ、監督者其者ガ不十分デアアル不公平ガ起リハシナイカト云フコトハ、私ハ何處マデモ宮内大臣ノ監督其モノニハ十分ニ信用ヲ置クノデアアル、併ナガラ改正法其物ガ完全トハ思ハヌガ、現状ニ於テ現狀ニ適シタルモノナリト致シテ、又宮内大臣ノ監督ニ信用ヲ致シ此改正案ヲ提出シタ譯デアリマセ

○男爵尾崎三良君 唯今總理大臣カラ御答辯ガアリマセタガ、ドウモ私ノ質問スル箇條ニ的合シナイ外ノ言葉ヲ御述ベニナッタヤウデアリマセスガ、去リナガラ強ヒテ之ヲ追窮スル者モゴザイマセスガ、唯、唯今ハ華族ノ現狀ガ斯ノ如クデアアルカラ、其現狀ノ儘ニテ之ヲ保護シタイト云フヤウニ伺ヒマシタガ、ソコハ又各々ノ見ル所デアリマセスカラ、私共ハ却ッテ斯ウ云フモノガアル爲ニ益々一體ノ華族ノ現狀ガ亂レハセヌカト却ッテ杞憂スル位ノモノデアリマセ、ソコハモウ議論ニナリマセスカラ後ノコトニ致シマシテ、是カラ押問答ヲスルト段々議場ノ妨ヲスルカラ、モウ是デ打切りマシテ後ノコトニ致シマセウ

○石渡敏一君 質問ヲ致シマセ、唯今總理大臣竝ニ司法大臣カラ現行ノ華族世襲財産法ハ時勢ノ進運ニ伴ハナイカラ改正ヲスルノデアアルト云ノ御説明ガアリマシタ、私ハ華族世襲財産法ニ慣レナイモノデアリマセスカラ、世襲財産法ノドウ云フ箇條、何條ト何條ガ時勢ノ進運ニ伴ハナイモノデアアルカ、其箇條ノ御示シテ願ヒタイト思ヒマセ、甚ダ御手数デアリマセスガ、司法大臣カラ御示シテ願ヒタイ

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 何レ詳シイコトハ委員會ニ於テ申述ベルコトデアリマセウガ、唯今御質問ノ一例トシテ御話ヲ致シマセバ、舊法ノ設定以來世間ノ状態ハ非常ニ變ッテ居ルニモ拘ラズ、二十有餘年間殆ド三十年ニ近キ時ノ變化ニ副ハナイ點ガアルノデアリマセ、其一例トシテハ世襲財産ノ一ト

シテ設定スベキ財産ノ種類ノ制限ノ如キモ、舊法第三條ニ於テハヒドク窮屈ニ致シテアルヤウニ見エマスガ、斯ノ如クスルノ必要ハナイデアラウ、同ジ有價證券デモ三十年前ト今日トハ、餘ホド其性質ヲ異ニシテ居ルモノモアリマス故ニ、之ヲ更ニ一般ニ廣クシタガ寧ロ華族ノ財産保護ノ目的ヲ達スルデアラウト云フガ如キモ其一デアリマスガ、又改正案ノ第十七條ニ於テ或ル制限ノ下ニ自由ヲ與ヘテ居リマスガ、此自由ヲ與ヘルノモ是モ時勢ノ變化ニ伴フ適當ノ處置デアッタ、之ヲ與ヘルガ爲ニ却ッテ財産保護ノ目的ヲ達スル、即チ目賀田男爵ノ述ベラレマシタ御詔勅ノ御趣意ヲ實行スルニ舊法ヨリカ更ニ便利デアラウト云フコトモ其一デアリマス、其類ノコトハマダ他ニアリマセウガ、此改正ノ出タ所ハ要スルニ二十有餘年間ニ世ノ中ガ大分變ッテ居リマス、其變化ニ應ジテ世襲財産設定ノ目的ヲ貫徹スルノニハ新法ガ宜カラウト云フ見地ヨリシテ此案ヲ提出シタ譯デアリマス、尙ホ詳シキコトハ何レ委員會ニ於テ十分ニ御説明ヲ致シタイ見込デアリマス

○石渡敏一君 唯今ノ御説明ハ分リマシタガ、現行法ノ第三條ニ時勢ノ進運ニ伴ハナイ所ガアルト云フ御話デアリマスガ、其箇條ガ能ク分ラナイ、ドウ云フ風ニナッテ居リマシテ、ソレカラ改正案デハ其箇條ハドウ云フ風ニ變換サレタノデアリマセウカ、其點ヲ今一應伺ヒタイ

〔國務大臣尾崎行雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(尾崎行雄君) 現行法ノ第三條ハ御承知ノ如ク「世襲財産ハ左ニ掲クル所ノ二類ニ限ル但第十五國立銀行株券ハ第二類ニ準シ世襲財産ト爲スコトヲ得」ト云フガ如キコトガアッテ而シテ其第一類ハ田、畑、山林、宅地、鹽田、牧場、池沼等、斯ウ限ッテアッテ、サウシテ第二類ハ政府發行ノ公債證書又ハ政府ノ保證若クハ特別ノ監督ニ屬スル銀行若クハ會社ノ株券ト云フコトニナッテ居リマス、ソレガ今回提出ノ案デハ第四條トナッテ、世襲財産ハ家寶、……家ノ寶デアリマス、不動産、登録國債又ハ記名ノ有價證券ニ限ルトシテ、餘ホド範圍ヲ廣クシテアルノデアリマス、而シテ此範圍ヲ廣クスルト云フコトハ、今日ノ時勢ニ適應シタル處置ト考ヘテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 小澤男爵ニ申上ゲマスガ、先刻委員ノコトニ付テ御發議ガアル様子デゴザイマシタガ、ドウ云フ御發議デゴザイマスカ

○男爵小澤武雄君 此特別委員ハ十五名ニシテ、議長ノ指名ニ願ヒタイ、其理由ハ茲ニ述ベマセヌデモ諸君モ御分リノコトト思ヒマス、既ニ第一讀會ノ

始メニ當ッテ御覽ノ通りニ質問等モアル位デアリマスカラ、反覆審議ヲ要スルコトト存ジマスカラ、十五名ニ願ヒタイ

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵石黒忠恵君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 小澤男爵ノ特別委員ノ數ヲ十五名トスル動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔成瀬書記官朗讀〕

華族世襲財産法改正法律案特別委員

公爵徳川 慶久君	伯爵柳澤 保惠君	男爵小澤 武雄君
子爵平田 東助君	子爵岡部 長職君	子爵三島 彌太郎君
子爵酒井 忠亮君	子爵水野 直君	男爵有地 品之允君
奥田 義人君	岡野 敬次郎君	男爵田 健治郎君
男爵本多 政以君	富井 政章君	桑田 熊藏君

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、電氣事業法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

電氣事業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年十二月十五日

右特別委員長

伯爵柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 電氣事業法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル八日十日及十五日ノ三日ニ互リマシテ開キマシテ、先ヅ正副委員長ノ互選ヲ終リマシテ直チニ會議ヲ開キマシ

タ、第一ニ此案ニ對スル遞信大臣ノ説明ヲ求メマシタ、其大臣ノ説明ニ依リマスルト、近時電氣事業ガ盛ニナリマシタニ付テ、ソレニ伴ウテ天災其他ノ原因ニ基ク所ノ電氣工作物ノ障害ガ度々起リマシテ、殊ニ水力電氣利用ノ發達ニ隨ヒマシテ、遠距離ノ間ニ電氣ヲ送リマスコトガ段々行ハレマスニ依リマシテ、益々其障害ガ起リマスノデアリマス、ソレ故ニ何等カノ方法ニ依ッテ、其障害ノ爲ニ生ズル所ノ停電ノ豫防ノ途ヲ講ジナケレバナラヌ必要ガアルノデアリマス、ソレニハ近來相接近シテ電氣事業ガ營マレテ居リマスルモノガ少クナイノデアリマス、故ニ是等ノ間ニ互ニ電氣ヲ流用サセマシタナラバ、最モ經濟的ニ停電ノ豫防ガ出來ル、ソレ故ニ此法律ヲ設ケル必要ガアルト云フノガ、此案ヲ提出ニナッタ趣旨デアリマス、更ニ又政府委員ヨリモ詳細ノ説明ガアリマシタ、委員會ニ於テハ此方法ハ頗ル必要ナルモノト認メマシタ次第デアリマス、併ナガラズノ如キコトハ成ルベク當事者間ノ相互ノ協定ニ任カス方ガ宜シイト云フ者デアリマスガ故ニ、政府ニ其事ヲ尋ネマシタ所ガ、政府ニ於テモ同様ノ考慮ヲ以テ此法律ノ運用ヲスルト云フコトデアリマシテ、即チ政府當局モ全ク是ト見解ヲ一ニシテ、主トシテ當事者間ニ妥協ノ方法ヲ取ラシムルト云フコトデアリマシタ、デ此法律ハ其妥協ガ成立ニ至ラズシテ、而カモ公益上已ムヲ得ザル場合ニ適用スルノデアリマスカラ、決シテ突然ニ之ヲ適用スルガ如キコトヲセスト云フ言質ヲ得タノデアリマス、又水力電氣ノ水量ノ不足ヨリ生ズル停電ノ場合ノ取扱振ハドウデアアルカト云フコトニ付テモ種々ノ質問ガアリマシタガ、政府當局ニ於テハ最初ノ水量調査ガ不十分ト認メマシタ場合ニハ他ニ相當ノ電氣補充ノ途ヲ講ジサセマスガ、其他ニ付テハ本法ノ適用上努メテ公衆ニ不便ヲ感ゼシムルコトノナイヤウニスル精神デアアルト云フコトヲ辯明セラレマシタ、大體右様ノ次第デ此法律案ハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、此段御報告申上ゲテ置キマス、委員會ニ於テハ、電氣事業ニ付テ専門ノ知識ノアル御方モ澤山御有リノコトデアリマスカラ、極メテ詳細ナル質問モゴザイマシタガ、併シ内容ガ極メテ單純ナルモノデアリマスカラ、全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵田健治郎君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部問題ニ供シマス……全部原案同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵柳原義光君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○男爵田健治郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、郵便爲替法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

郵便爲替法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年十二月十四日

右特別委員長

侯爵徳川 圀順

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔侯爵徳川圀順君演壇ニ登ル〕

○侯爵徳川圀順君 郵便爲替法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ去ル十四日ニ開キマシテ政府委員ヨリノ詳細ナル説明ガゴザイマシタ、尙ホ委員ノ御方ヨリモ質問ガゴザイマシタ、此法案ハ御承知ノ通り從來郵便爲替證書ノ有効期間ヲ異ニスル爲ニ其手續ガ多ク、殊ニ郵便爲替取扱數ハ法律制定當時ノ約三倍ニ達シマシテ計算上有効期間ヲ統一スルノ必要ヲ生ジマシタ、且ツ今日ニアッテハ交通機關ノ發達ト一般經濟ノ進歩ノ爲ニ區別ヲ設ケル必要ガ無クナリマシタノデ、有効期間ヲ統一シ事務ノ簡捷ヲ計ルト云フノデアリマス、殊ニ此法律案ハ關連シタ他ノ法律案モナイト云フコトデアリマスノデ、委員會デハ少シノ異議モナク全會一致ヲ以テ可決確定ヲ致シマシタ、右御報告ヲ申上ゲマス

〔阪本鈺之助君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 阪本君ハ何デスカ

○阪本鈺之助君 特別委員長ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス……御著席ノ儘デ宜シウゴザイマスカラ……

○議長(公爵徳川家達君) 阪本君

○阪本鈺之助君 前回ノ一讀會ノ時ニハ閣席ヲ致シテ居リマシテ質問ヲ致ス機會ヲ得マセヌノデアリマシタガ、此郵便爲替ハ多ク下層ノ人々ノ利用スルモノデアリマシテ、今日ハ遠方ヘ金ヲ送りマスルノニ多クノ金ヲ扱ヒマスル者ハ銀行ニ依ルノガ普通デアリマス、郵便爲替ニ依ル者ノ中ニハ勞働者トカ或ハ下女下男トカ云フヤウナ者ガ多イノデアリマス、ソレ等ノ人々ハ忙シイトカ、或ハ主人カラ暇ヲ得ルコトガ出來ナカッタトカ云フヤウナコトモアリ、遂ニ其期限ノアルナゾト云フコトハ心得ズニ居ルト云フ者ガ多イダラウト思ヒマスガ、ソレガ期限ガ短縮サレテ無効ニナルト云フコトハ頗ル憐ムベキコトデアルト思フノデアリマス、其邊ニ付テハ委員會ニ於テハ深ク御討論ハナカッタノデアリマセウカ、今日マデハ普通ノ爲替ナラ九十日、小爲替ナラ六十日トナツテ居リマスガ、其中ニ受取ニ來ナカッタ爲ニ失効シタ數ハドノ位ト云フコトニ付テハ別ニ御取調ハナカッタノデアリマスガ、本員ノ見ル所デハ細民ノ爲ニ是ハ不幸ナル改正デアルト存ジマスノデアリマスガ、委員會ノ御所見ハドウ云フコトデアリマスガ、ソレヲ御尋イタシマス

○侯爵徳川圀順君 委員會ニ於キマシテハサウ云フ質問ハゴザイマセヌデシタ、是ダケ御答イタシマス

○阪本鈺之助君 ソレナラ此爲ニ失効シタ現在ノ調査ハドウ云フモノデアルカト云フコトヲ政府委員ニ御尋イタシマス

〔國務大臣箕浦勝人君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(箕浦勝人君) 唯今御尋ノ點ハ委員會デモ此表ヲ委員ノ御方ニ御覽ニ入レタト考ヘテ居リマスガ尙ホ申上ゲマスガ、通常爲替ニ於キマシテ一萬口ノ内デ二通ダケデアリマス、ソレカラ電信爲替ガ同ジク一萬口ノ内デ三通、ソレカラ小爲替ガ一萬口ニ付キマシテ二十三通、サウ云フヤウニ相成ッテ居リマス、餘リ多クハナイヤウデアリマス

○伯爵松平賴壽君 此法案ハ數字ニ付テモ少シハ御質問モアッタヤウデスケレドモ別段大シテムヅカシクナイヤウニ存ジマス、又簡單ナ法案デゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ御議決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○伯爵田健治郎君 賛成

○伯爵林博太郎君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵中川興長君 賛成

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○男爵原口兼濟君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 松平伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公傳德川家達君) 議事日程第五、大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正四年十二月十四日

右特別委員長

子爵前田 利定

貴族院議長公傳德川家達殿

「子爵前田利定君演壇ニ登ル」

○子爵前田利定君 大正四年田租第一期分延納ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ御報告ヲ申上ゲマス、本案提出ノ要旨ハ前同此所ニ於キマシテ所管國務大臣ノ説明ニモアリマシタ通り、大正四年田租第一期分ハ即チ本月十六日ヨリ來年一月十六日ニ互リマス期間ニ納入セネバナラヌコトニナツテ居リマス、然ルニ暮ニモ迫ッテ參リマスルシ、又新シキ春ヲ迎ヘルト云フノデ、ソレノ農家ニ於キマシテモ金ノ要ルコトハ勿論デアリマスルガ、ソレニ附加ヘマシテ米價下落ノ爲ニ農村ハ餘ホド疲弊困憊ノ狀ヲ呈シテ居リマスノデアリマス、故ニ此際ニ於キマシテ第一期ノ田租ヲ納メサセルト云フコトハ管ニ農村ノ疲弊ヲ増スノミナラズ、一面ニ於キマシテハ米價ヲシテ益ノ投資ノ結果下落セシメルト云フ虞ガアリマスノデ、政府ハ此際米價調節ノ救済應急策ト致シマシテ、此納期ヲバ六月十五日マデ延納ヲ許スト云フノガ本案ノ趣旨デアリマス、而シテ此納期ニ基キマシテ國庫ノ收支ノ上ニ於キマシテハ無論影響ハアルノデアリマスガ、金額ニ致シマスレバ一千百十八萬圓デアリマス、併ナガラ幸ニモ兵器賣拂代金カラ融通ガ付キマシヤウナコトカラ之ヲ補填スルガ爲ニ大藏省ノ證券ノ發行額モ是マデノ規定通り五千萬圓ヲ超過スルコトナク、一番發行高ノ多イ二月ニ於キマシテモ四千九百四十五萬圓ニナル、五千萬圓ノ限度ヲ超エルコトナクシテ財政上ニ於テモ補填ガ付クト云フコトデアリマス、委員會ハ此法案ハ最モ急ヲ要スルコトデアリマシタノデ、即日委員會ヲ成立イタシマシテ質問ニ入りマシタ、尙ホ其翌日モ引續イテ質問ヲ繼續イタシマシタ、政府委員ト特別委員トノ間ニ於キマシテ夥シキ質問應答ヲ重ネマシタ後ニ委員會ハ滿場一致ヲ以テ左ノ意味ニ於テ賛成ヲ致シマシタノデアリマス、ソレハ此田租延納ト云フコトハ誠ニ米價調節策トシテ不徹底ナモノデア

ル、從ッテ其效力ハ甚ダ不十分ナコトデアアル、併ナガラ爲サザルヨリハ爲シタ方ガ假令幾分ナリトモ投資ノ傾向ヲ制シ、農家ノ救済ニモ米價調節ニ於テモ多少效果ガアルダラウカラ、是ハ矢張り認メタ方ガ宜カラウ、尙ホ政府ニ於テモ此田租延納ト云フ米價調節策外ニ尙ホソレノ米價調節ニ付テハ考慮ヲ廻ラスト云フコトニ信ヲ置キマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決イタシマシタ、尤モ其可決ニ際シマシテ委員會ノ決議ヲ以テ次ノ希望ヲ申添ヘマシタ、全體此田租第一期ハ十二月十六日カラ一月十五日ニ涉ルト云フコトハ農村ニ取ッテハ誠ニ重荷デアアル、デアアルカラ將來政府ニ於テ研究ヲ盡サレテ此第一期ヲバ宜シクモウ少シ後ニ繰下ゲテ制定セラルルヤウニシテ欲シイト云フ希望ヲ申添ヘマシテ可決イタシマシタ次第デアリマス、尙ホ委員會ニ於キマシテハ審議ノ際ニ政府委員トノ間ニハ質問モ數多クアリマシタガ、何分ニモ二日間ニ涉ル質問デアリマスノデ、一々委シク茲ニ申述べルコトガ出來マセヌノハ甚ダ遺憾デアリマス、殊ニ委員ノ中ニハ此米ト云フコトニ付テハ最モ研究ヲ積マレタ御方ガアル、又財政上ノコトニ通曉セラレタ諸君ガ多クアツタガ爲ニ、單リ本案ノ審議ノミナラズ、進ンデ米價調節ト云フモノノ根本政策ニ立入ッタ豐富ナル所ノ意見ヲ吐露サレ、又政府ニ向ッテ注意ヲ申サレタ方モアリマシタノデ、我々特別委員トシマシテハ甚ダ有益ナル御議論ヲ承ッタ譯デアリマスガ、茲ニハ本案ノ審議上密接ナ關係ヲ有ッテ居ル所ノ質問ヲ三四申述べテ、アトハ省略イタシタイト思ヒマス、或ハ委員ハ此延納案ト云フモノハ甚ダ不十分ナモノデアアルガ、政府ハ之ヲ以テ満足スルカト云フ間ニ對シマシテハ、政府委員ハ決シテ是ニハ甘ンゼヌ、先ヅ米價調節ト云フコトニ付テハ考慮ヲ廻ラスト、斯ウ云フ答ヲ以テセラレマシタ、又此延納ト云フコトヲ許スト云フコトハ誠ニ至極結構ナコトデアアルガ、政府ニ於テモ財政ヲ差繰ッテマデ延納ヲ許シテ米價ノ調節ヲ計リ農家ヲ救済シタイト云フ誠意デアルナラバ、ナゼモウ少シ奮發シテ六月十五日ヲ締切トシナイデ、今少シ延バサレテ六月三十日マデノ延納ヲ認メテヤッタラドウダラウ、又兵器ノ賣拂等ニ依ッテ多少ノ金融ハ付クト云フガ、其他財政上ノ繰廻シノ上ニ於テ今少シ徹底シタル救済案ヲ提出シナイノデアアルカト云フ間ニ對シマシテハ、政府ハ六月三十日ト云フノハ前年度ノ國庫出納ノ閉鎖期デアアルカラ、多少十五日位ソコニ餘裕ヲ見テ置カナイト差支ガアラウ、ソレ故ニ六月十五日ヲ以テ納期ノ末日延納ノ末日トシナケレバナラヌノデアアル、又兵器ノ賣拂等ニ依ッ

テ多少金融ガ付クコトモアルガ、併ナガラ一方大藏省證券ハ五千萬圓ノ限度ヲ超エルコトナク財政ヲ繰廻サウトシタナラバ是ヨリ以上奮發ノシヤウガナイノデアル、サウ云フ事情ヲ懇々申サレマシタ、此點ニ付キマシテハ特別委員ノ方ハ政府委員トノ間ニ夥シキ質問應答ガアリマシタケレドモ、一々ソレヲ申述ベル譯ニ參リマセヌ故ニ、唯財政ノ收支ノコトニマデ立入ッテ特別委員會ハ審議ヲ盡シタト云フコトヲ以テソレニ代ヘタイト思ヒマス、尙ホ其他質問ノ中デ重ナルモノヲ申上ゲマスと云フト、全體延納ト云フコトハ至極宜イコトデアルケレドモ、是ハ徵稅法ノ根本義ニ觸レテ居ルト云フコトデアル、苟モ經濟情況ノ如何ニ依ッテ納期ノ變更ヲスルト云フヤウナコトハ是ハ餘ホド重大ナコトデハアリマスマイカ、政府ハ將來ニ於テ經濟ノ情況ニ依ッテハ斯様ナコトヲ繰返サレルコトガアルカドウカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府委員ハ是ハ決シテ納期ノ變更デハナイノデアル、唯六月十五日マデ延期ヲ認メルダケノ話デ、納期トシテハ法律ノ規定通り一月十五日ヲ以テ納期トスルト云フコトニ付テハ少シモ變ヘヌノデアル、又斯様ナ延納ヲ許スト云フコトハ謂ハユル例外ノコトデ、萬已ムヲ得ヌコトニ出タノデアルト云フ答デアリマシタ、又或ル特別委員ノ一人ハ成ルホド延納ト云フコトハ此際應急策トシテ宜イコトデアルカ知レヌケレドモ、政府ガ考ヘル所ト又實際ノコトハ喰違ガ起リハセヌカ、ナゼナラバ延納ヲ許スト云フコトガ氣配トナッテ米ノ投賣ヲスルト云フコトニナッテ反對ノ現象ヲ助長シハセヌカ、又朝鮮カラシテ之ヲ機會トシテ米ガ多ク輸入シテ來ハセヌカ、又一面ニ於テハ此際多少猶豫ハ農家ニ於テ付クト致シマシテモ、五月六月ノ頃ニ於テ第四期ノ田租ト延納サレタ所ノ第一期ノ田租ト折重ッテ納メルト云フカラシテ、五月六月ノ頃ニ於テ夥シク投賣ヲ見ルコトハアルマイカ、政府ガ折角苦心シテ立テタ所ノ政策ガ却ッテ反對ノ現象ヲ見出スコトハアルマイカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ハ或ハ五月六月ノ頃ニ投賣ヲ見ルコトガアルカモ知レナイ、併ナガラ全體ノ量ノ上カラシテ此節季ニ於テ即チ出來秋ノ頃ニ投賣ノ多イト云フコトハ政府ニ於テ認メルコトデアルカラ、此際之ヲ救済スルト云フコトヲ宜イト認メタ次第デアル、又延納ト云フコトガ氣配トナッテ此際投賣ガ多イトカ、或ハ朝鮮米ガ多ク這入ッテ來ルトカ云フ商略上ノ事ハソレノ人々ノ見込ニ依ッテ違フコトデアルガ、政府ニ於テハサウハ考ヘテ居ラナイノデアル、サウ云フ答デアリマシタ、其他特別委員ノ一人ハ是マデハ此米ヲ多ク作ルト云フコト

ニ付テ研究ヲ盡サレテ居ルケレドモ、之ヲ貯藏スルト云フ方ニ付テハ餘リ研究ヲ盡サレテ居ナイ、併ナガラ米價調節ト云フコトニ付テハ貯藏ト云フコトガ十分ニ研究サレテ居ルト云フコトモ一ツノ緩和劑ニナルコトト考ヘルガ、政府ニ於テハ貯藏ノ方ノ研究ト云フコトハ必要トシナイノデアルカドウカ、若シ必要トスルナラバ本年度ニ或ハ追加豫算トシテデモ其費用ヲ出サレル考ガアルカドウカト云フ問ニ對シマシテハ、政府委員ハソレニ答ヘテ無論貯藏法ノ研究ト云フコトガ必要デアルト云フコトハ認メテ居ル、若シ農商務省ノ方ニ於テソレニ付テ豫算ノ要求ガアレバ大藏省ニ於テハ相當ノ考慮ヲ廻ラスト云フ御答デアリマシタ、大體右様ノ質問ガアリマシタ、ト云フコトヲ諸君ノ御參考ニ申上ゲテ委員會ノ報告ハ是デ終リマス、尙ホ一言申添ヘテ置キタイト考ヘマスコトハ本案ノ委員會ノ閉デラレマシタ後ニ本員等ノ研究ニ依リマス此法案ノ中ニ蛇足ノ規定ノアルト云フコトヲ發見シタノデアリマス、ソレハ第二項ニ「前項延納ニ係ル收入ハ之ヲ大正四年度所屬トス」ト云フ規定ガアリマスガ、是ハ本員等ノ見ル所ニ依リマスルト云フト、全ク無用蛇足ノモノデアルト思フノデアリマス、政府ハ既ニ納期ノ變更ニアラズシテ單ニ納入ノ延期ヲ認ムルニ過ギナイト云フ以上ニハ納期ハ矢張り一月ノ十五日ヲ以テ終ル規定ハ動カナイモノト見ルノガ至當デアルト思フノデアリマス、然ルトキハ會計規則ノ第一條、第一ニ「納期ノ一定シタル收入ハ其納期末日ノ屬スル年度」ト云フコトガ出テ居ル、斯ウ云フ規定ヲ置カナクテモ大正四年度ノ收入ニナルト云フ會計規則第一條ニ依ッテ認メラルルノデアリマス、斯カル無用ナル規定ガ此法案ニ出テ居ルト云フコトハ法文ノ體裁トシテ面白クナイト考ヘルノデアリマス、併ナガラ本員ハ茲ニ修正ノ意見ヲ提出スルト云フマデノ考ハ有ッテ居リマセヌノデアリマス、蛇足デハアルケレドモ別ニ害ノアルモノデハナイ、又之ヲ修正セムトスレバ急ヲ要スル所ノ法律案ノ確定ヲ見ルコトガ遷延スル、遷延スレバ農家ノ救済、米價ノ調節、應急ト云フ目的ガ達セラレナイコトニナルノデアリマスカラ、本員ハ修正意見ヲ提出イタシマセヌケレドモ、若シ本員ノ所信ガ誤ラナイモノデアラナラバ……

○議長(公爵德川家達君) ソレハ委員會ノ經過及結果ノ御報告デナクテ前田子爵ハ御意見ヲ御述ベニナルノデアリマスカ

○子爵前田利定君 私ハ政府ニ注意ヲ促シテ置キタイト思フノデス

○議長(公爵德川家達君) ソレハ委員會ノ經過ト結果ノ御報告ノ序デニ御述

ベニナルノデスカ

○子爵前田利定君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 聊カ規則ニ反スルヤウニ思ヒマス

○子爵前田利定君 若シ本員ノ所信ガ誤ラナイモノデアラナラバ法律案ノ起草ニ際シマシテ今一段ノ御注意ヲ望ミタイト思フデアリマス

○水野鍊太郎君 委員長ノ報告ニ付テ御尋イタシタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 水野君ハ何デスカ

○水野鍊太郎君 委員長ノ御報告ニ付テ御尋イタシタイノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○水野鍊太郎君 唯今ノ御報告ニ依リマスレバ本案ヲ委員會ニ於テ議スルニ付キマシテ希望ヲ附セラレタト云フコトデアリマスガ、其希望ハ田租第一期ノ納期ヲ永遠ニ延バサレ……永久ノ法トシテ延バサレタイト云フ御意向デア
ルガ如ク聴取ッタノデスカ、左様デアリマセウカ、而シテ之ニ對シマスル政
府ノ意向ハ如何デアッタデアリマセウカ、此點ニ付キマシテノ委員會ノ御意
向ヲ承リタイト思ヒマス

○子爵前田利定君 委員會ノ決議ヲ以テ希望ヲ添ヘマシタ趣旨ハ將來ニ於テ
此田租ノ納期ヲ改正セラレムコトヲ要求スル意味デ可決イタシマシタノデア
リマス、之ヲ繼續スルノデハ無論ナイノデアリマス、是ハ本年度ニ限ッテ納
期ノ……延納ヲ許サレルト云フノガ法案ノ趣旨デアリマス、故ニ來年度ニ於
キマシテハ十二月十六日カラ一月十五日マデニ納メナケレバナラヌノデアリ
マス、將來納期ノ改正ヲ政府ニ促スト云フ意味ヲ以テ希望ヲ申添ヘタ次第デ
アリマス、政府ニ於キマシテハソレニ對シマシテ實行スルト云フマデノ回答
ハアリマセヌデ、考慮シテ置クト云フ意味デアリマシタ

○橋本圭三郎君 チョット今ノ委員長ノ御報告ニ付テ質問ガアリマス、私モ
委員デアリマシタガ、今ノ永久ニ互ッテ此納期ノ改正ト云フコトニ付テ決ヲ
御採リデナカッタヤウデアリマスガ、今ノ報告ハ多數ノ意志ガサウデアッタト
云フコトデアレバ私ハ別ニ何モ申シマセヌガ、私ハ決シテ賛成ハ致シテ居ラ
ヌノデアリマス、滿場一致デモナイノデアリマス、別ニ決ヲ御採リニナラナ
カッタヤウデアリマスガ、ドウデスカ

○子爵前田利定君 委員ノ一人カラシテサウ云フ希望ヲ申添ヘタヲ宜カラウ
ト云フ意見ガ出マシテ、ソレニ對スル御賛成ガアリマシタガ、一人モ別ニ御

異議ヲ唱ヘタ御方ハアリマセヌ故ニ委員會ノ決議ヲ以テサウ云フ希望ヲ申添
ヘタコトト委員長ハ承知イタシマシタ

○男爵高木兼寛君 私ハ政府委員ニ御尋イタシタイノデアリマス、今日ノ所
デハ米價ガ廉イノデ、ソレヲ延納ヲ許セバ相當ナル價ヲ有ツ時ニ米穀ヲ賣放
スコトガ出來ルカラ便宜デアラウト云フ意味合デ延納ニナル案ガ出タ如ク承
ルノデアリマス、付キマシテハ相當ナル價ノ來ルマデ米穀ノ所有者ガ賣ラズ
ニ置キマシタナラバ其間ニ國民ノ食料ニ足リルダケノ米穀ハ何レヨリ供給ス
ルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、若
シ米穀ガ……食フ物ガナケレバ否ヤデモ應デモ賣ラナケレバナラヌト云フコ
トニナリハ致シマセヌカト思フノデアリマス、然ルトキニハ食ハズニハ居ラ
レマセヌカラ是非六月頃マデノ間ノ食料ヲ何レニカ仰ガナケレバナラヌト斯
ウ云フコトニナルノデアリマス、若シモ多量ノ廉イ米穀ヲ他ヨリ供給スルト
云フコトニナリマスレバ貯ヘ置ク所ノ米ハ値段ヲ増スト云フコトハ頗ル困難
ニナリハセヌカト云フ嫌ガアルヤウデアリマスカラ、政府ハ之ヲ如何ニ見テ
居リマスルカ、之ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 此年末ニ際シテ米ヲ賣ラナケレバナラヌト云フコ
トニナリマスルト農家ガ甚ダ困ルト云フノデ、此法律案ノ趣意ハ其處ニアル
ノデアリマスカラ、此延納ヲ許シマシタ所ガ世間ノ食料ガ缺乏スル程賣手ガ
ナイト云フ結果ハ決シテ見ナイコトト政府ハ信ジテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵前田利定君 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出イタシマス

○男爵石黒忠恵君 チョット伺ヒマスガ唯今ノ希望ト云フモノハ附イテ決シ
マスノデゴザイマスガ、附カヌデ決シマスガ委員會ノ希望ト云フモノハ……
ソレヲ伺ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ノ御考ニ任セマス

○岡田良平君 本員ハ委員ノ一人デゴザイマスガチョット申上ゲマス、委員會
ニ於キマシテ決議ト希望ト兩方出マシタガ、貴族院規則ニ依リマシテ條件附

ノ決議ハ許サヌコトニナツテ居リマスノデ、其希望ハ單ニ希望ニ止メテ、決議ノ中ニ入レヌコトハ其際ニ明カニ致シタノデアリマス、其事ヲチヨット申上ゲテ置キマス、二讀會ヲ開クト云フコトニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 前田子爵ノ直チニ第二讀會ヲ開クト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵前田利定君 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出イタシマス

○子爵青木信光君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會イタシマス

午前十一時五十四分散會